

・このたびは弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には、施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき安全でより美しい仕上がりに施工していただくために、施工前に必ず本書を一読くださいますよう、お願い致します。

安全上のご注意



注意

※この表示の欄は「傷害を負うこと」が想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度です。

- ・接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。
- ・接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。守らない場合、健康を害するおそれがあります。

施工上のご注意

- ①この商品は、一般内装(住宅)用の装飾壁・天井材です。屋外用にはご使用になれません。また、屋内でも浴室など湯気にさらされたり、たえず水がかかったりするところでは、ご使用になれません。
- ②この商品は、台所などの壁や天井で防火性能が必要なところではご使用になれません。
- ③製品に直接コンセント、スイッチや照明器具、テレビなど配線器具や重量物、熱を発生する器具を取り付けることはできません。
- ④直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気の多いところでは保管しないでください。長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、割れ、反りなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。
- ⑤施工下地が濡れていないことをご確認ください。下地が濡れていると施工後、製品へのカビの発生、変色、突き上げ、スキ、反りが発生することがあります。
- ⑥接着剤、釘は必ず指定のものをご使用ください。
- ⑦施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、杳柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。
- ⑧施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具(保護メガネ、防じんマスクなど)を使用してください。
- ⑨木材は湿度の変化により伸縮する性質があります。そのため周囲に1mm程度のスキ間を設けて、伸びを吸収できるようにしてください。

1 梱包内容・あらかじめ用意するもの

1 梱包内容

各部材の名称は「2. 納まり例・部材名称」を参照ください。

名称	①パネル本体	②取付パーツ	③スペーサー	④施工説明書	
形状・寸法	厚み13.5×巾152.0×長さ2,727mm 	本体 ネジ(長さ40mm)	厚み2.5×巾50×長さ300mm 合板 	本書 	
入数	4枚入	4枚	各28個	2枚	1枚
	1枚入	1枚	各7個	1枚	なし

※オプション部材 【別売品】

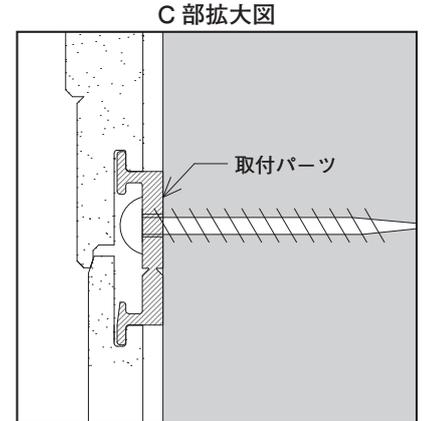
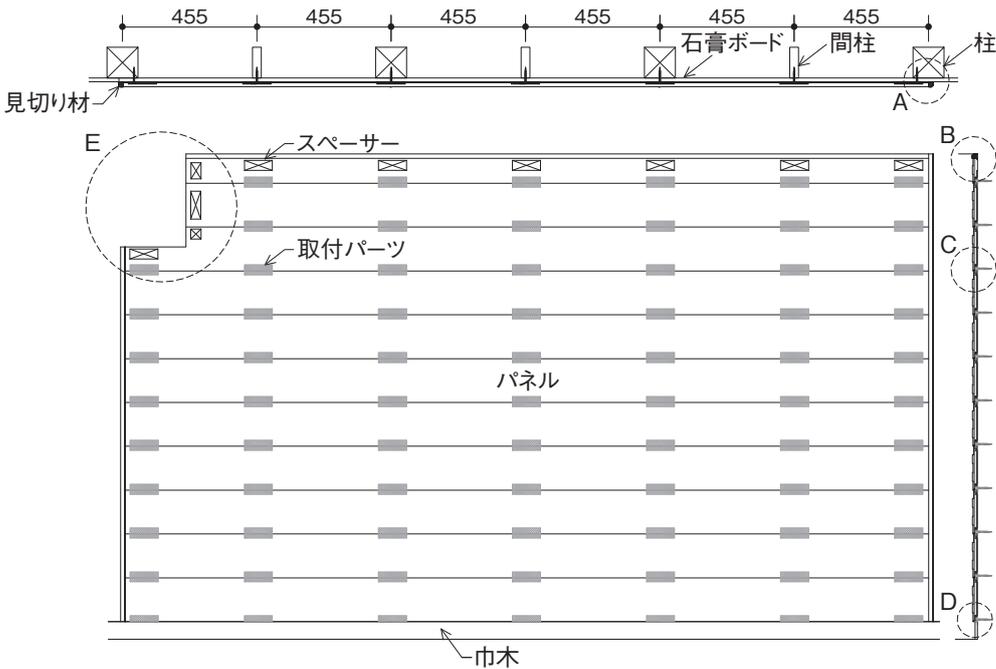
名称	見切り材A	見切り材B
形状・寸法	厚み18×巾15×長さ2,760mm ※見切縁・入隅用	厚み28×巾28×長さ2,760mm ※出隅用
入数	1本	1本

2 あらかじめ準備するもの

- ・水準器 ・電動ドライバー ・ドライバー (+) ・軍手(手袋) ・メジャー ・養生材、養生テープ
- ・木工用接着剤(推奨 コニシ(株):CH-18) ・下地探知工具 ・丸のこ ・のこぎり ・墨つば
- ・フィニッシュネイラー(釘頭2mm, 長さ40~50mm) ・サンドペーパー #180~240 等

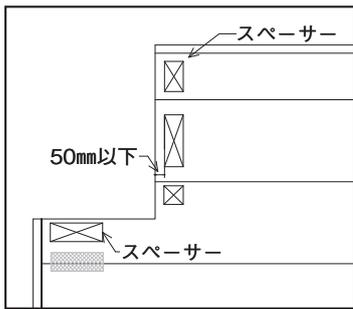
2 納まり例・部材名称

施工例

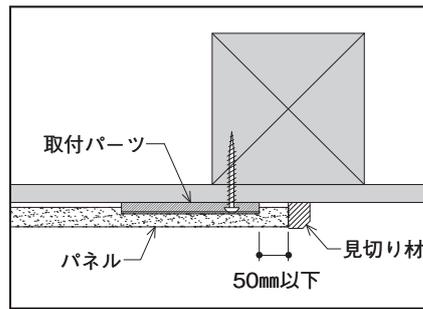


パネルの接合箇所は下段のパネルに上段のパネルが被さります。

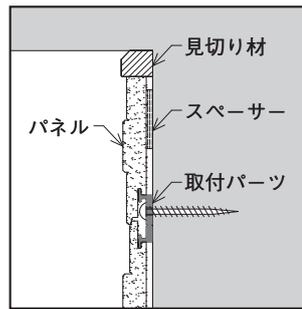
E部拡大図



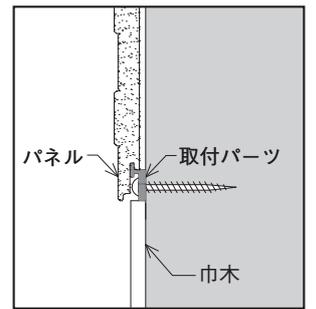
A部拡大図



B部拡大図



D部拡大図

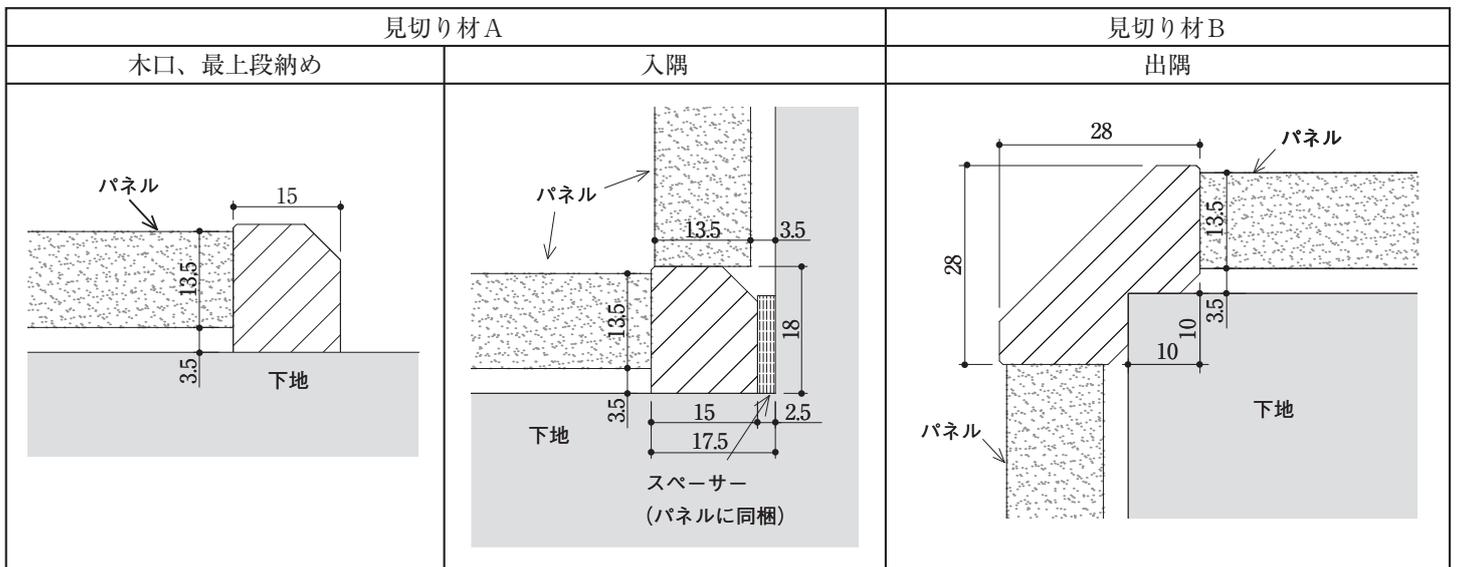


取付パーツはパネルの端部から50mm以下に取り付けてください。
 パネルの切り欠き箇所が木質下地がない場合はトリプルグリップ（別売り）で取付パーツを固定するか、上図のように同梱のスペーサーの両面に木工用接着剤を塗布しパネルと下地の間に挟み、パネル表面からフィニッシュネイルで固定してください。

最上段のパネルは、製品に同梱のスペーサーの両面に木工用接着剤を塗布しパネルと下地の間に挟み、パネル表面からフィニッシュネイルで固定してください。

1段目の取付パーツは、取付パーツの溝に沿ってカッターなどで裁断し、ネジ穴がある方を使用します。

【見切り材を使用した場合の納まり】



※見切り材は木工用接着剤を塗布し、フィニッシュネイルで下地に固定してください。

〔注〕クールジャパンスリム同様の凹凸施工は出来ませんのでご注意ください。

3 下地の種類と条件

下地の種類と条件

- ・柱・間柱などの木質下地（または鋼製スタッド）+ 捨貼り合板（12mm以上）
- ・柱・間柱などの木質下地（または鋼製スタッド）+ 石膏ボード（9mm以上）注1)
 - 注1) 石膏ボード下地の場合、455mmピッチの木下地（柱・間柱、縦貼りの場合は胴縁）、または鋼製スタッドに取付パーツを固定してください。柱・間柱または鋼製スタッドがない箇所への取付パーツの固定はトリプルグリップ（別売り）を使用してください。鋼製スタッドへの取付パーツの固定はネジ固定箇所先に穴加工が必要になる場合があります。
 - 注2) 天井施工の場合、455mmピッチの木質下地（野縁）へ取付けパーツを固定してください。木質下地のない箇所への固定やトリプルグリップでの固定はしないでください。
 - 注3) その他下地条件については営業にお問合せください。

ポイント



・必ず施工前に下地の種類や状態をご確認ください。

4 施工手順

手順1 パネルの割付・長さカット

1 パネルの割付

- ・梱包をほどいて、色調のバランスが取れるように一度仮並べしてください。
- ・取付パーツのピッチは柱・間柱のピッチに合わせて455mm以下になるようにしてください。
- ・施工間口が2,727mmを超えるなどパネル短辺方向に継ぐ場合、接続箇所が一致しないように接続箇所をずらして割り付けてください。

2 長さカット

割付に従ってパネルを長さカットしてください。裁断面にササクレやバリ等が発生した場合は、サンドペーパー（#240）で削って仕上げてください。

ポイント



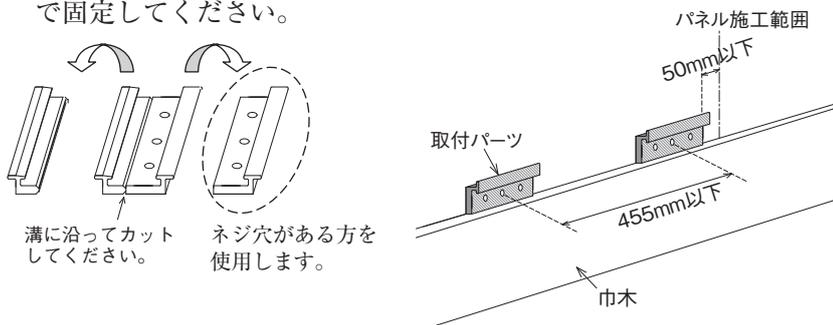
・パネルの接合箇所は下段のパネルに上段のパネルが被さります。カットする際の方向を確認してください。

手順2 1段目のパネルの取付

1 取付パーツの固定

本製品は下基準が基本であり、下から順番に積み上げて施工します。

- ・1段目の取付パーツの取付位置の基準線を墨出ししてください。（巾木を基準にする場合には巾木の水平が出ていることをご確認ください。）
- ・取付パーツの溝に沿ってカッターなどで裁断し、下地の柱・間柱の位置に合わせて455mm以下の間隔で同梱のネジで固定してください。



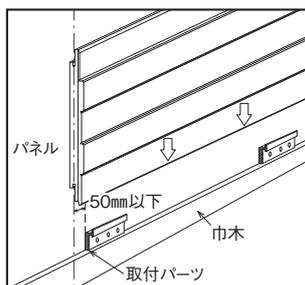
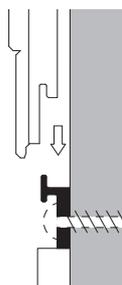
ポイント



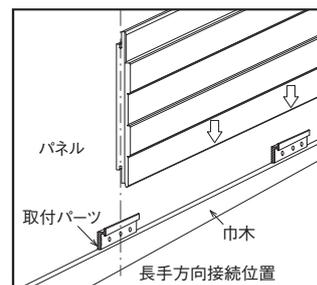
- ・取付パーツには3箇所ネジ穴がありますが、ネジ打ちは中央部1箇所のみです。
- ・取付パーツの方向にご注意ください。

2 パネルの固定

- ・パネルには上下の方向があり、右図の向きでパネルを取付パーツにしっかりと勘合してください。
- ・施工間口が2,727mmを超えるなどパネルの長さ継ぎをする場合、パネルの長手方向の接合部は2mm程度の目地を取り目透かしで納めてください。



※長さ継ぎをする場合



ポイント



パネルの長さ接ぎは取付パーツの中心で跨ぐように取り付けてください。

4 施工手順

手順3 2段目以降のパネルの取付

1 取付パーツの固定

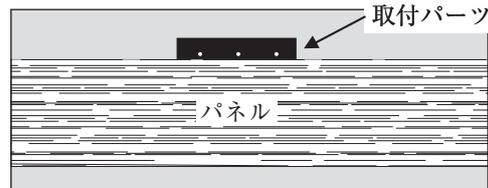
取付パーツを下地の柱・間柱の位置に合わせて455mm以下の間隔で、1段目のパネル上部に差し込み、同梱のネジで固定してください。

2 取付パーツを固定後、2段目のパネルを取付パーツに差し込み、パネルの直線性を確認してください。

ポイント



取付パーツに差し込むことにより、下段のパネルに上段のパネルの一部がかぶさりますので、無理に叩き込まないようにしてください。

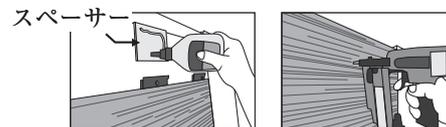
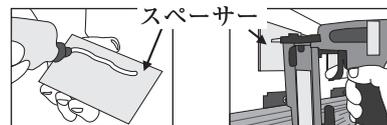


手順4 最上段のパネルの取付

1 最上段のパネルは残りの高さ寸法から、パネルを取付パーツに差し込む際に可動に必要な寸法（約5mm以上）を差し引いた寸法でカットしてください。

2 同梱のスペーサーを必要長さにカットし、下地との接着面に木工用接着剤を塗布し、柱・間柱（野縁）または合板下地のある位置にネジまたはフィニッシュネイルで固定してください。

3 スペーサーに木工用接着剤を塗布してから最上段のパネルを取付パーツに差し込み、パネル表面からスペーサー取付位置にフィニッシュネイルで固定してください。



手順5 施工後も美しく（養生）

・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。

ポイント



製品に直接、養生テープを貼らないでください。剥がした際に表面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

5 お引き渡しまでの間のご注意

換気についてのご注意

当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでの間できるだけ、居室等の換気に努めてくださいますよう、お願いいたします。

水ぬれ等に対するご注意

工事完了後は、雨水にぬらさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水ぬれした場合はすぐに拭き取り十分に乾かしてください。ぬれたまま放置しておくと、シミになることがあります。

6 お手入れの方法について

- ・ほこり払いなど、日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
- ・水ぬれ、油汚れなどの汚れはすぐに拭き取ってください。
- ・クレヨン・油性ペンなどによる汚れは落ちにくいですが、染み抜き用クリーナーなどの使用はご遠慮ください。

WODTEC

朝日ウッドテック株式会社

本社 大阪市中央区南本町4-5-10 〒541-0054

東京支店 東京都江東区新木場1-4-6 〒136-0082

●商品については下記営業までお問い合わせください。

東京(東京チーム) 03-5569-5512

支店(千葉チーム) 03-5569-7743

東部特需ユニット第1 03-5569-5513

東部特需ユニット第2 03-5569-7769

東部集合ユニット 03-5569-5514

東部アメリカユニット 03-5569-7701

大阪(大阪チーム) 06-6245-9501

西部特需ユニット 06-6245-9502

西部集合ユニット 06-6245-9503

西部アメリカユニット 06-6245-9060

北海道(札幌) 011-207-1177

東北(仙台) 022-287-0145

北関東(上尾) 048-775-0471

東京西(府中) 042-361-3634

神奈川 0466-45-8867

名古屋 052-238-2081

北陸(金沢) 076-292-1830

広島 082-246-3361

四国(高松) 087-866-9609

九州(福岡) 092-481-5228